

個人投資家向け



(株)九電工

2019年6月10日

福証IRフェア
於：ソラリア西鉄ホテル

代表取締役 副社長執行役員
檜垣 博紀



1 . 概 要

・社名	株式会社 九電工
・設立	1944年（昭和19年）12月1日
・資本金	125億6,156万円（2019年3月31日現在）
・上場市場：コード	東京証券取引所第1部、福岡証券取引所 1959
・本社	福岡市南区那の川一丁目23番35号
・東京本社	東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60
・拠点	本社、東京本社、国内10支店、120支社 営業所 / 海外5拠点
・建設業認可	国土交通大臣許可（特29）第1659号
・従業員数	連結9,954名（2019年3月31日現在） 単体6,399名

2. グループの沿革

売上高

百万円

450000

400000

350000

300000

250000

200000

150000

100000

50000

0

- 1944(昭和19)年 九州電気工事株式会社を設立
- 1945(昭和20)年 東京支社(現 東京本社)を設置
- 1947(昭和22)年 九州配電株式会社(昭和22年設立 現九州電力株式会社)と配電工事委託契約を締結
- 1964(昭和39)年 空調工事の営業開始
- 1972(昭和47)年 東京証券取引所第一部へ指定替え上場
- 1987(昭和62)年 第1回無担保転換社債100億円を発行
- 1989(平成元年)年 株式会社九電工へ商号変更
- 2015(平成27)年 第2回無担保転換社債100億円を発行
- 2019(令和元)年 創立75周年

2018年度
4,000億円
突破

2014年度
3,000億円
突破

1991年度
2,000億円
突破

1980年度
1,000億円
突破

その他

空調・衛生工事

太陽光発電工事

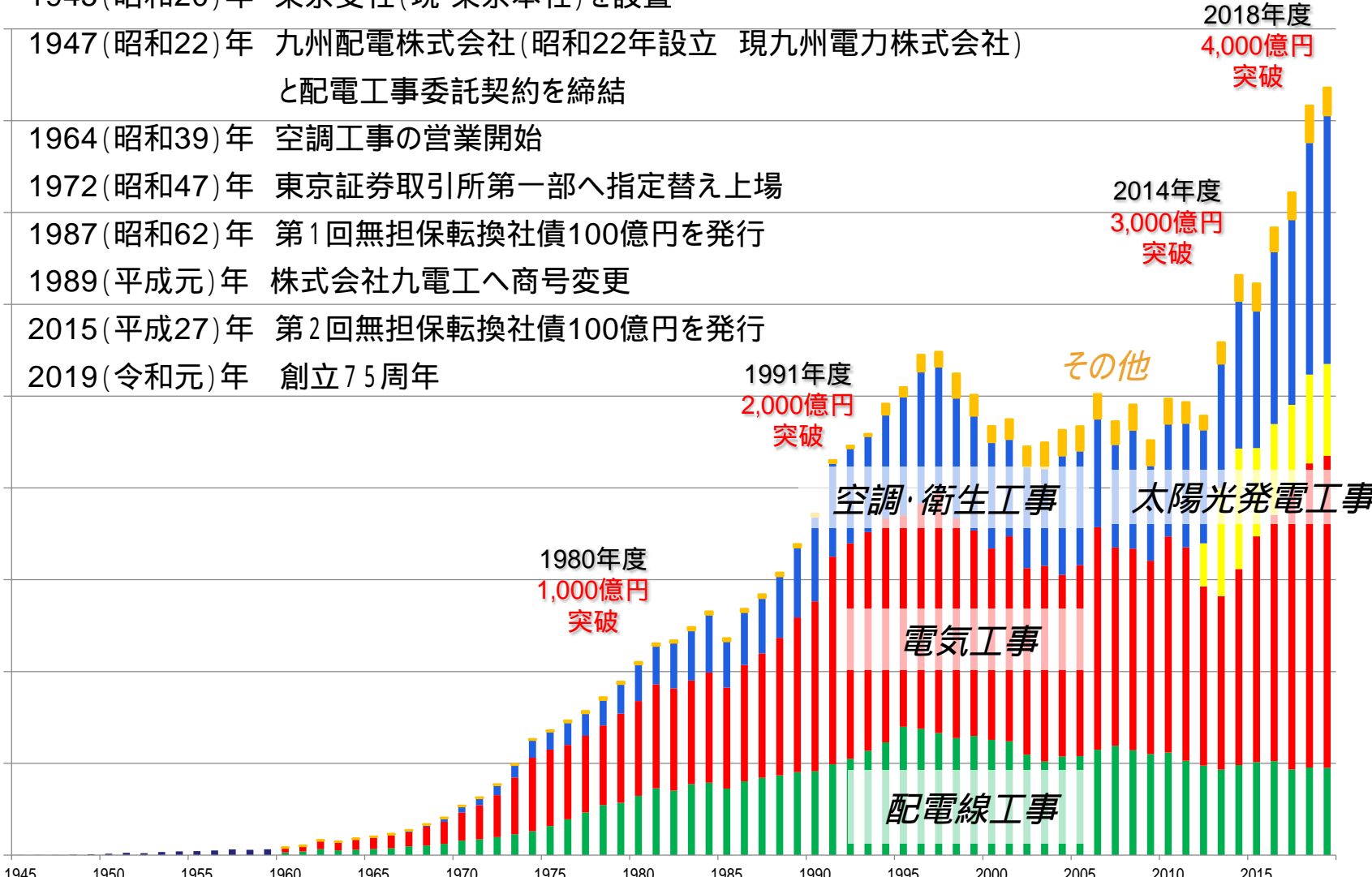
電気工事

配電線工事

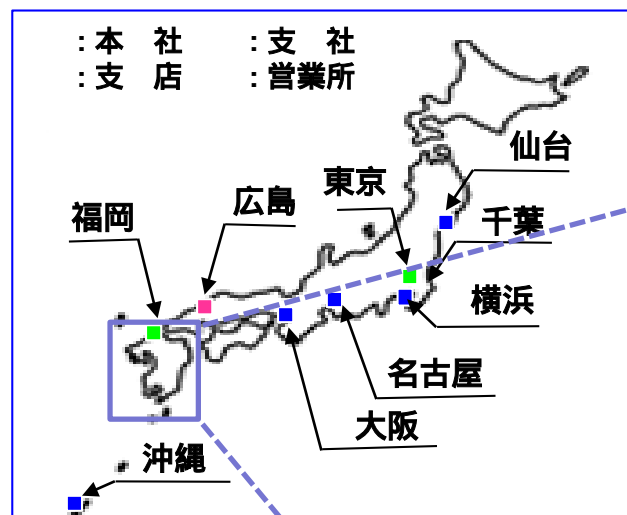
1945 1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015

事業年度

※1994年度より連結

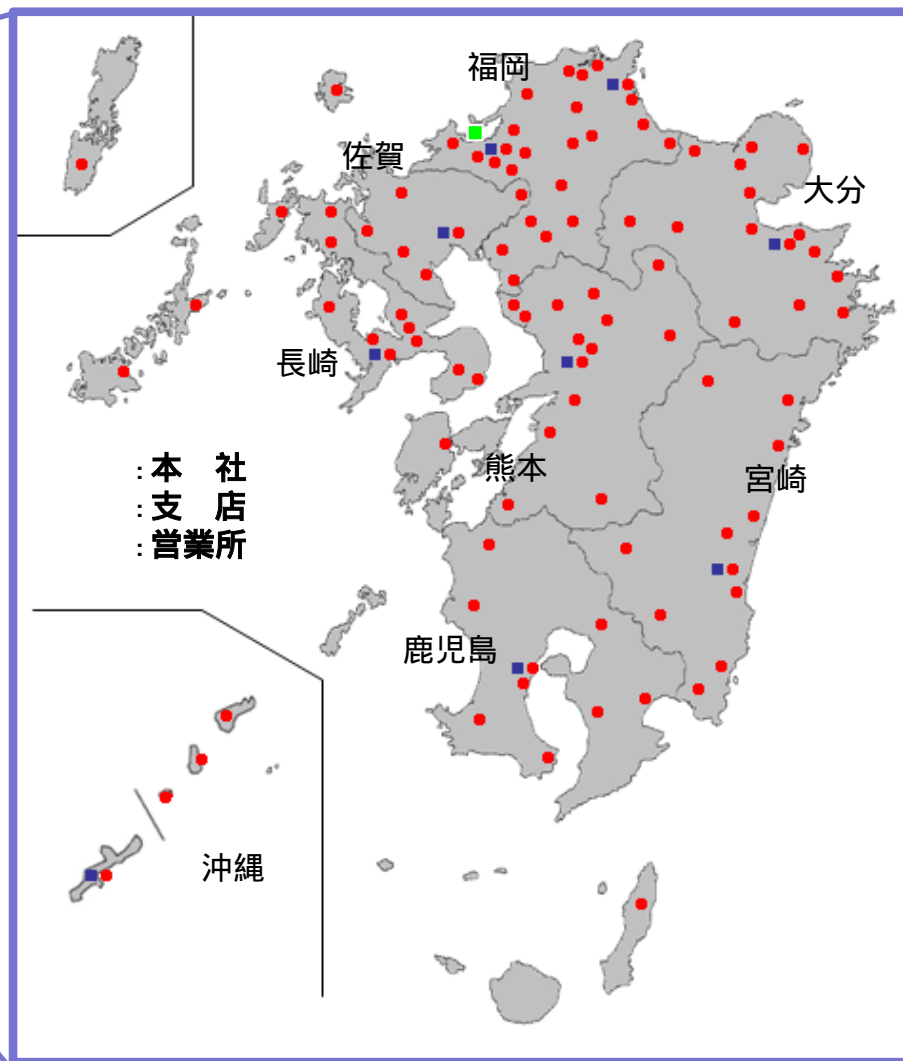


3 . 事業所所在地



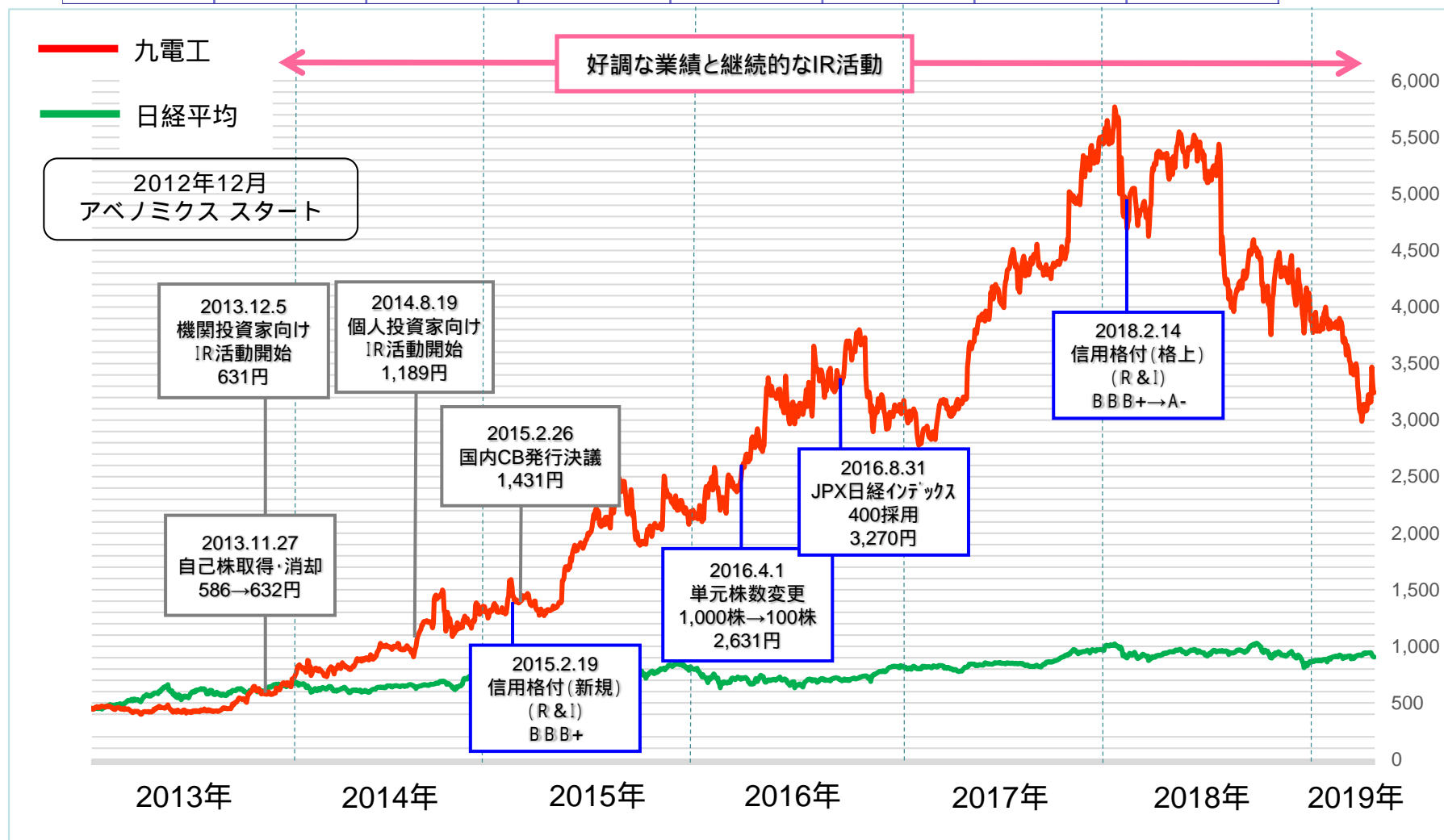
海外

九州地方



4 . 株式データ

	株価 (円)	時価総額 (百万円)	予想EPS (円)	予想PER (倍)	配当予想 (円)	配当利回り (%)	配当性向 (%)
2019/5/10	3,245	230,932	382.31	8.5	100	3.1	26.2

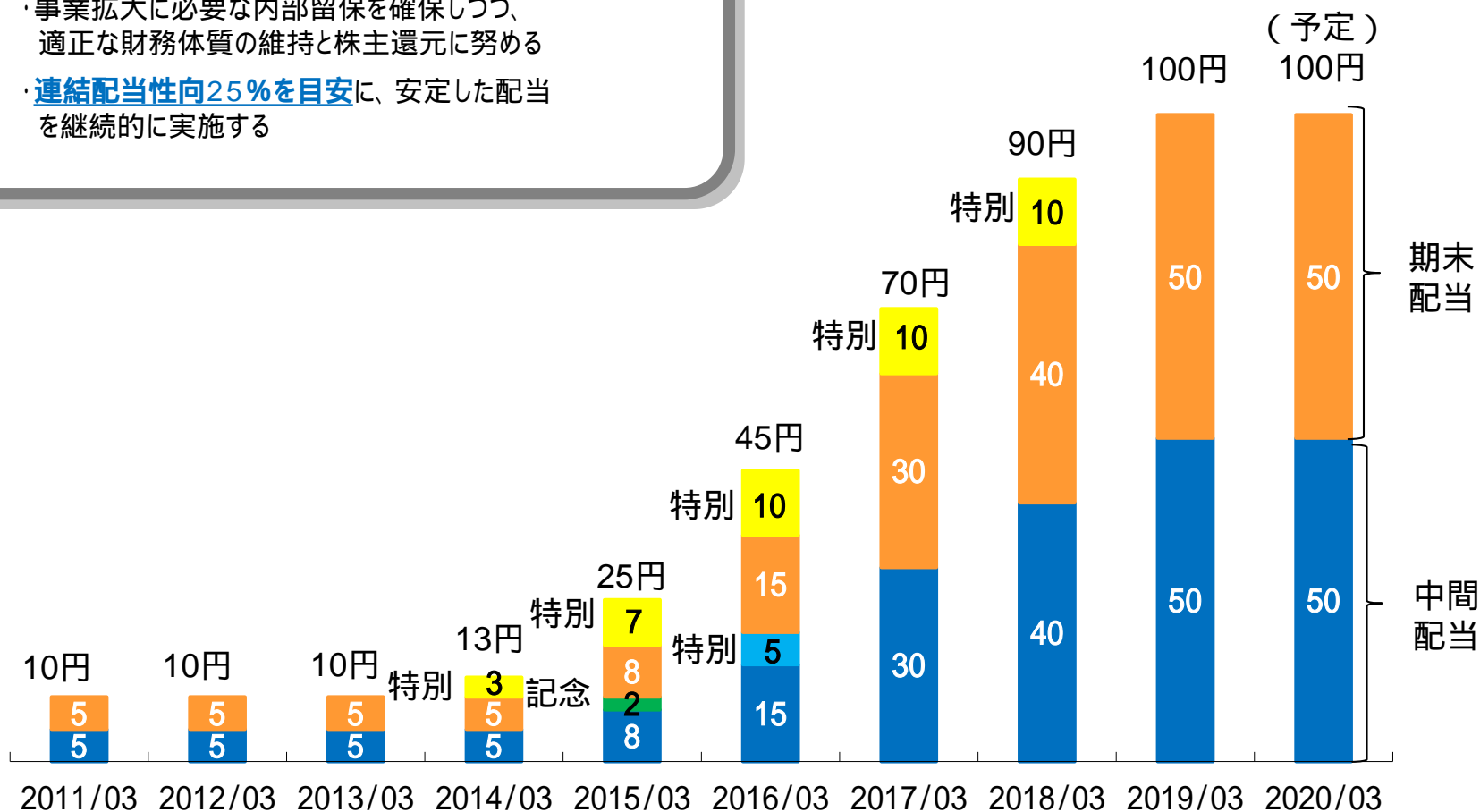


5 . 配当金

配当方針

- ・事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、適正な財務体質の維持と株主還元努める
- ・**連結配当性向25%を目安**に、安定した配当を継続的に実施する

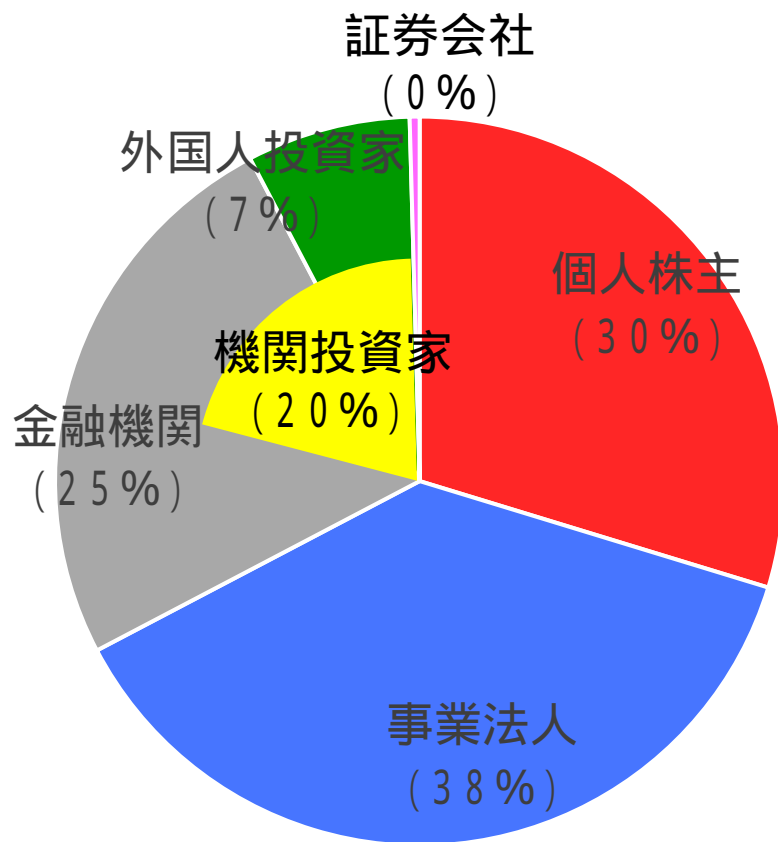
棒グラフ
配当金：円



6 . 株主構成の推移

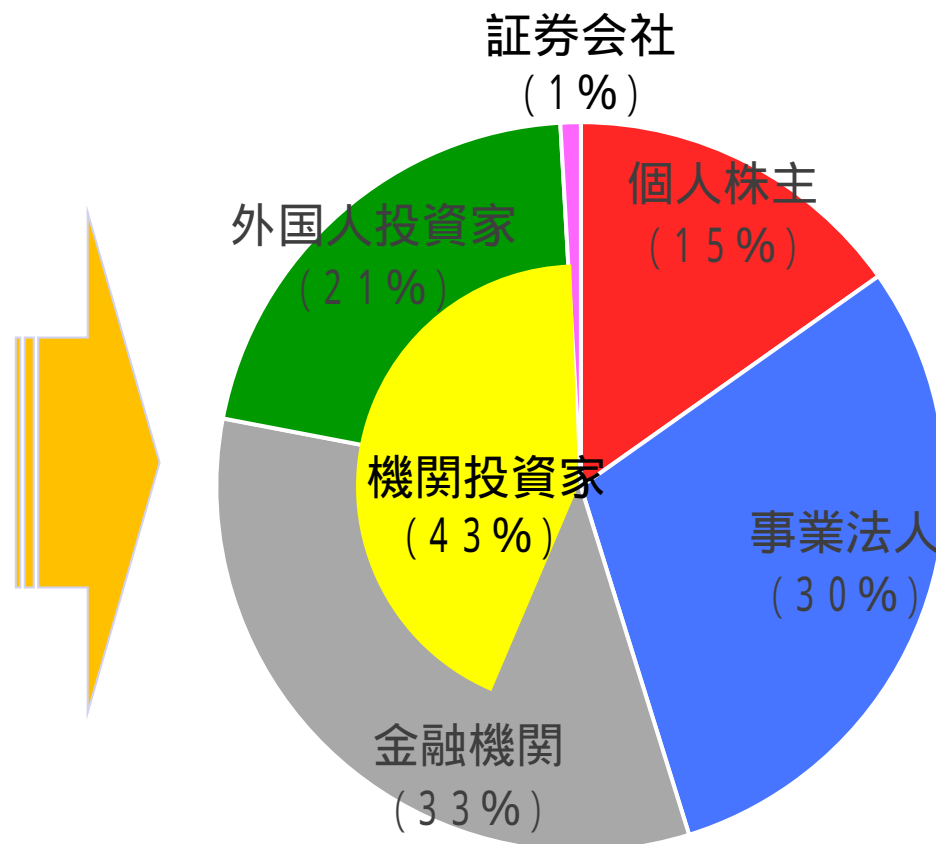
2013.03 株主持分構成

・発行済株式総数 83,005,819株
・株主数 5,716名

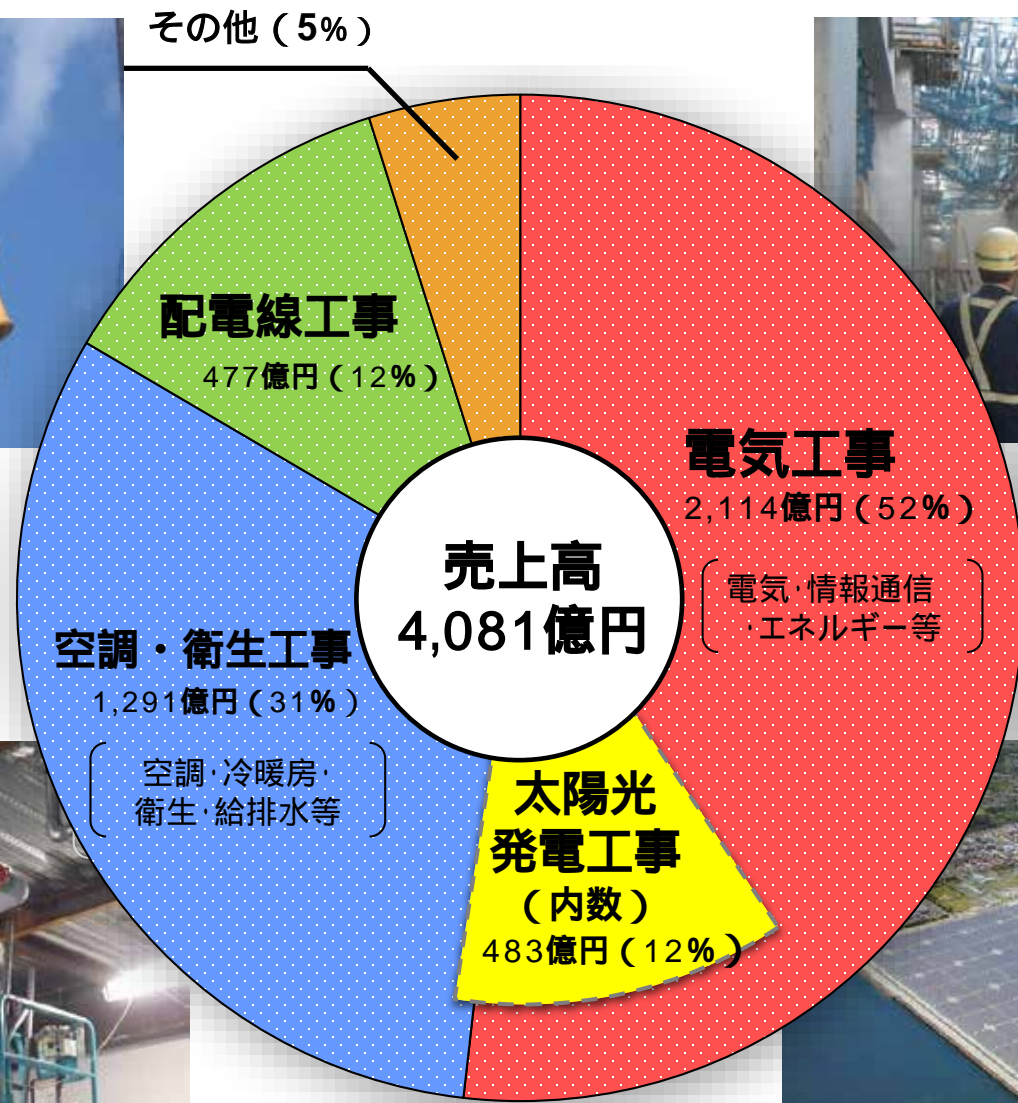


2019.03 株主持分構成

・発行済株式総数 71,165,783株
・株主数 6,386名



7. グループ売上高と事業構成 (2018年度)



総合設備工事業 (電気・空気・水)

< 売上高 >

- ・電気工事 業界第3位
- ・空調・衛生工事 // 第6位

両業界においてベスト10入り
しているのは九電工のみ！

➡ 総合売上高 // 第2位

< 利益率 > // 第1位

強み！

- ・電気及び空調・衛生工事の一括受注
(コスト削減・工期短縮)
- ・総合的なエネルギー管理
- ・省エネ提案



提供:イオンモール(株)様

9 . 九州のインフラを守る

九州における圧倒的シェア

九州・沖縄全域に110の事業所

九州の「ライフラインを守る」社会的責任

ex)

- ・熊本地震復旧工事
- ・博多駅前陥没事故復旧工事

強み！

地域密着営業により

お客様のニーズの先取り

迅速な保守やメンテ



10. 九州における施工実績

福岡タワー



提供:福岡タワー(株)様



ヤフオク! ドーム



JR博多シティ



キャナルシティ博多



トヨタ自動車九州 苅田工場



トヨタ自動車九州 宮田工場



KITTE博多



九州大学椎木講堂



九州厚生年金病院



九州労災病院



ミクニワールドスタジアム

11 . 関東・関西での事業展開

- ・ 首都圏での営業開始は1945年、
施工関連会社・協力業者を早くから育成
- ・ 首都圏売上高 450億円を超え、
近い将来 700億円以上を目指す
- ・ 圧倒的な直営技術者・技能工の動員力
- ・ 近年はM & Aによる地域密着も目指す



首都圏で施工した超高層ビル第一号

九州域外での組織強化

2008年	首都圏の組織を改組 東京本社を設置
2012年	大阪支店を関西支店へ改組 管轄範囲を拡大
2012年	東北支社を設置
2014年	横浜営業所を横浜支社へ改組
2015年	名古屋支社を設置
2017年	埼玉営業所を埼玉支社へ改組

首都圏・関西圏で地元の設備工事が九電工グループに参加

	参加年	会社名	所在地	2018年度売上高	従業員数
	2014年	小寺電業	大阪市	1,932百万円	50名
	2015年	河内工業	大阪市	1,488百万円	18名
	2015年	昭永電設	千葉市	983百万円	28名
	2018年	三友電設	郡山市	857百万円	47名
	2018年	エルゴテック	横浜市	10,427百万円	144名
	2018年	清和工業	水戸市	1,763百万円	36名

12. 首都圏及び関西地区における施工実績

横浜ランドマークタワー



六本木ヒルズ



旧赤坂プリンス再開発



JPタワー KITTE



歌舞伎座



虎ノ門ヒルズ



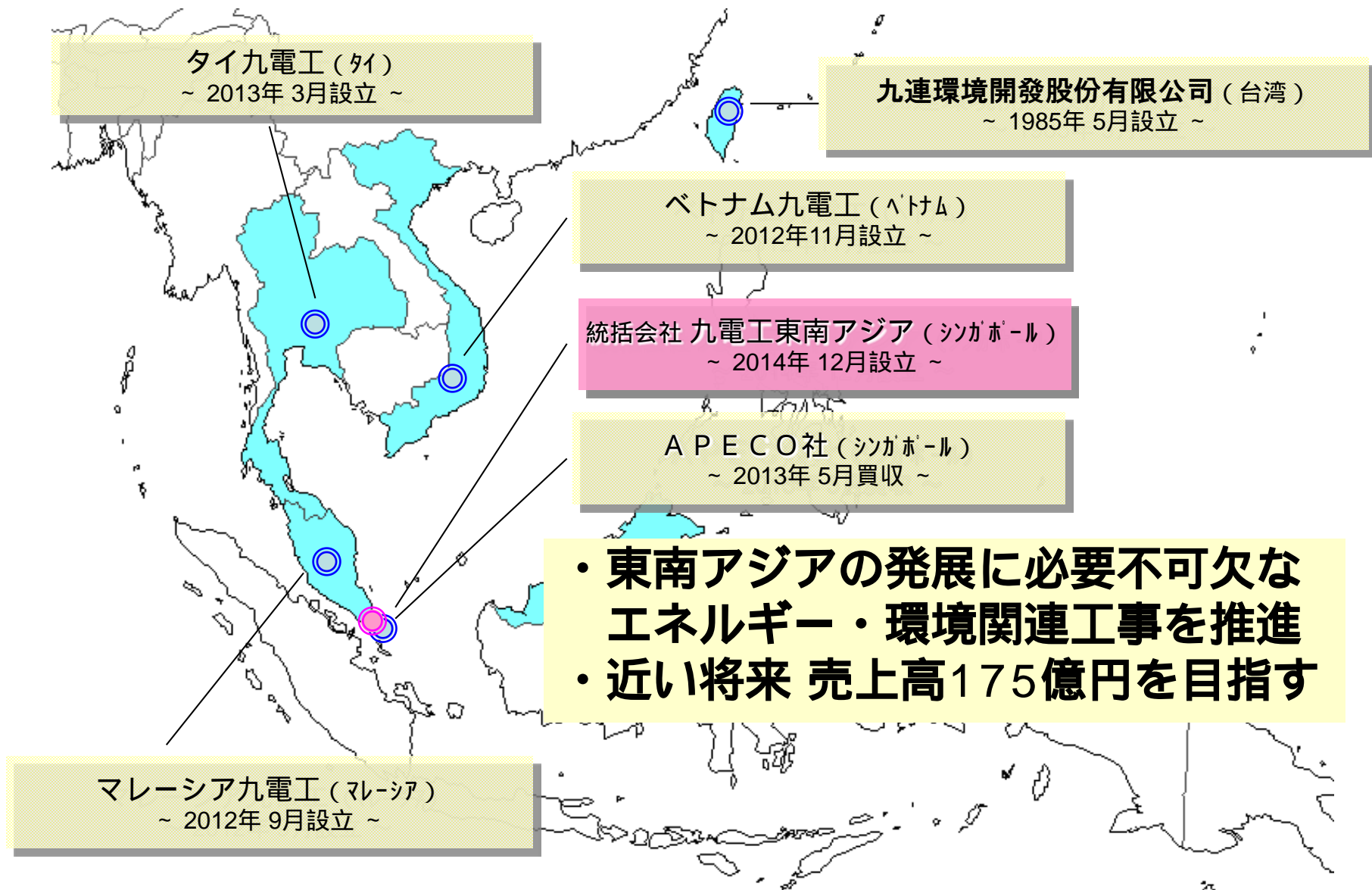
ザ・リッツ・カールトン京都



近畿大学東大阪キャンパス



13 . 東南アジアでのビジネス展開



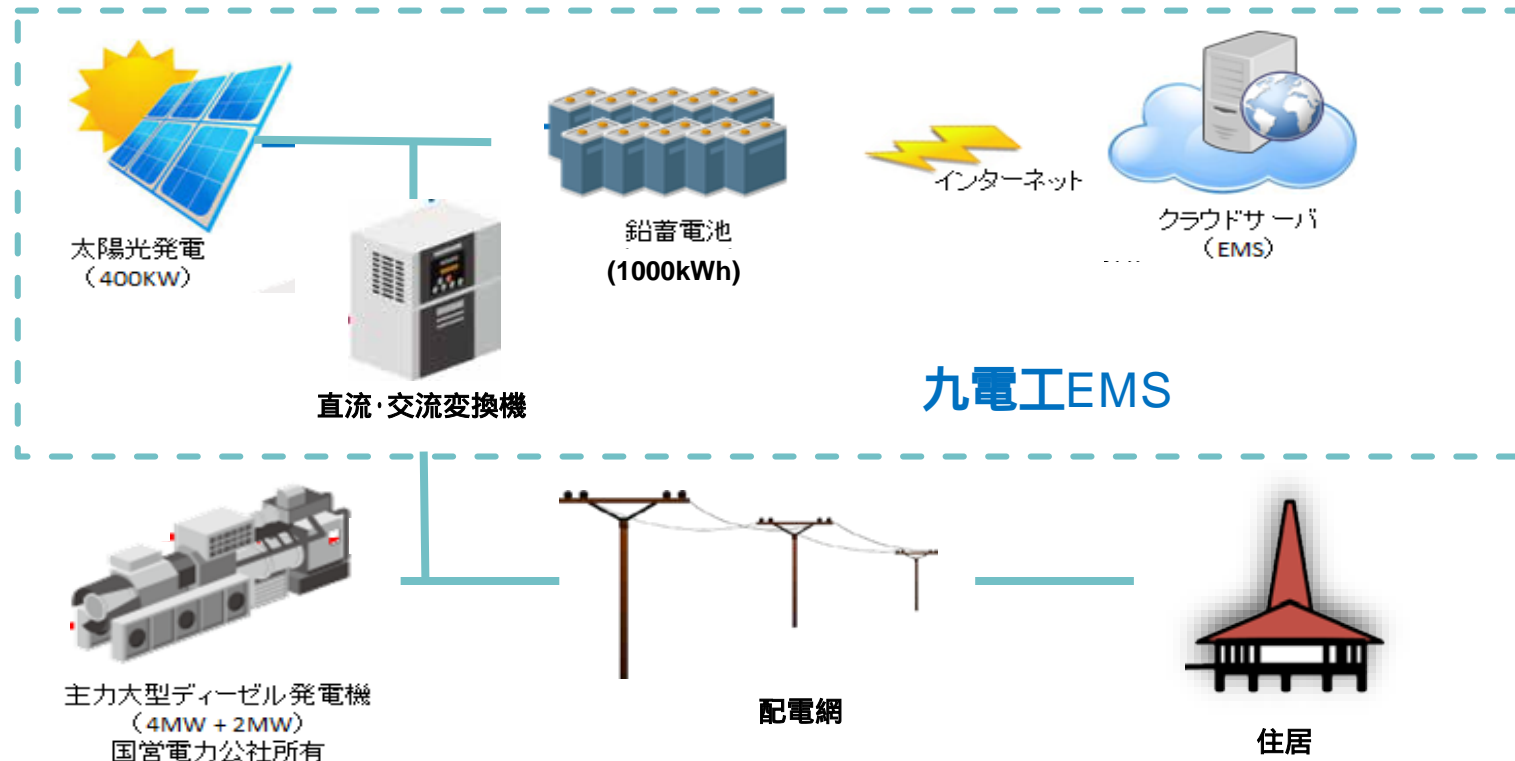
14 . 九電工EMS スンバ島実証モデル

ハイブリッド発電・蓄電で地域電力の安定供給に貢献

環境省補助金事業 として、インドネシア・スンバ島（人口約50万人）の既存設備に、九電工EMS（エネルギー・マネジメント・システム）を導入。
再生可能エネルギー由来電力の、安定した系統連携を実現。
不安定な再生可能エネルギー電力が、地域電力網の中核となることを目指す。

途上国向け低炭素技術イノベーション創出事業

九電工EMS スンバ島 モデル



15 . 九州の配電線網は九電工が施工

九州電力管内の配電線工事の約 85% を施工

全国の電力系配電線施工会社と比較して…

強み！

**100%無停電
全国に先駆け、間接工具を
昭和63年に導入**



16 . 現場力・技術力の強化

定期採用者数 [九電工単体]

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
合計	188名	252名	280名	368名	407名	362名
高卒	111名	162名	176名	246名	271名	253名
大卒	77名	90名	104名	122名	136名	109名

高卒に専修卒・高専卒含む
大卒に修士卒・短大卒含む

技能工数

(九電工)

約 2,100

+

(子会社)

約 2,000

=

約 4,100

施工管理者数

(九電工)

約 3,000

+

(子会社)

約 1,000

=

約 4,000

グループ従業員9,900名のうち、**約8,100名が技術者。**

17. 人財育成を推進

九電工グループの教育拠点「九電工アカデミー」を設立

配電昇柱研修



電気配線研修



九電工アカデミー外観



精神修養の場「朋学庵」



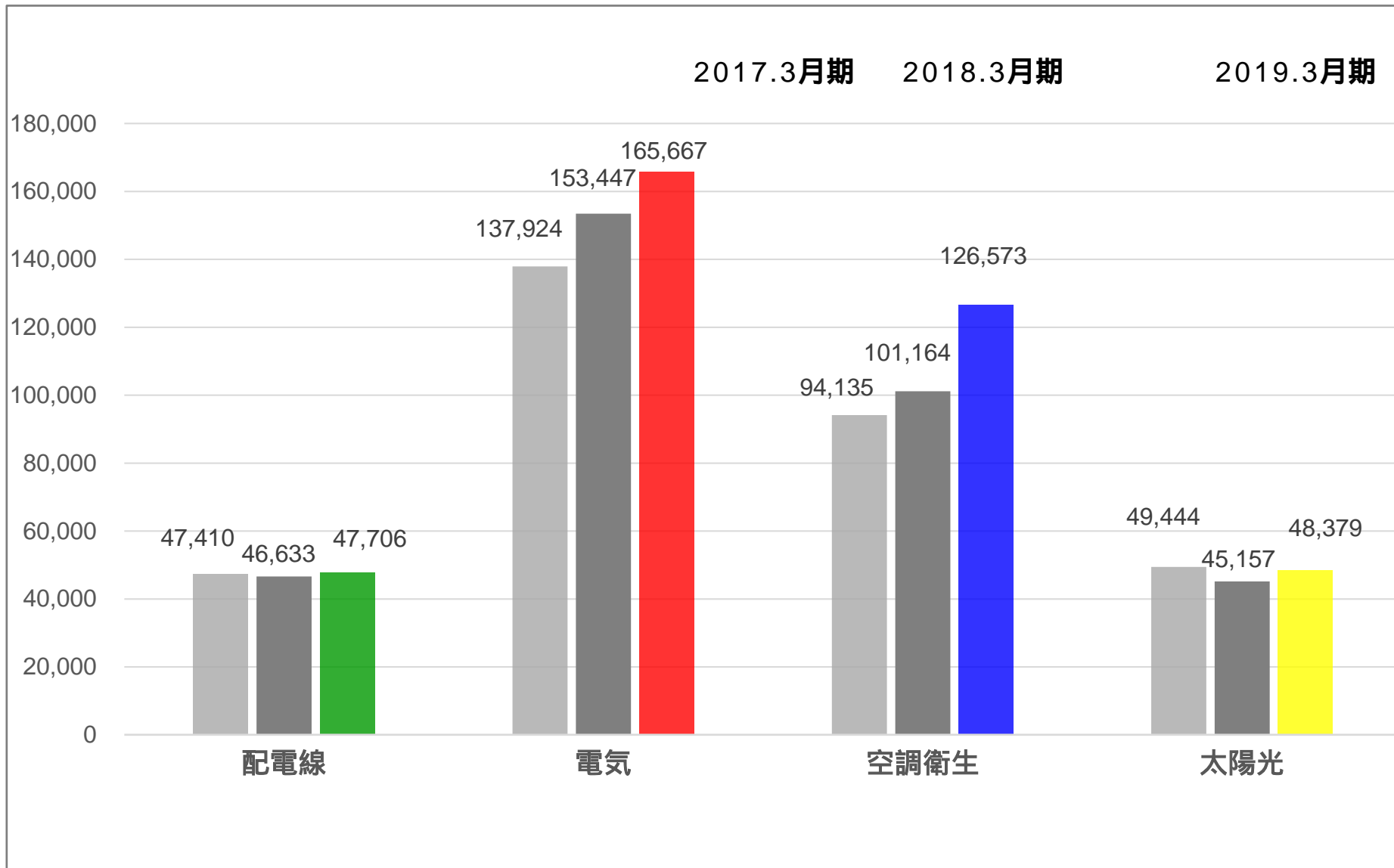
18 . 2019年3月期 決算の概要

(百万円、下段は構成比)

	2018年3月期	2019年3月期	
		実績	前年比
売上高	360,872 (100.0%)	408,143 (100.0%)	113.1%
売上総利益	56,659 (15.7%)	60,561 (14.8%)	106.9%
営業利益	34,726 (9.6%)	36,747 (9.0%)	105.8%
経常利益	37,342 (10.3%)	39,924 (9.8%)	106.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,296 (7.0%)	26,691 (6.5%)	105.5%
一株当たり 当期純利益	356.89円	375.17円	

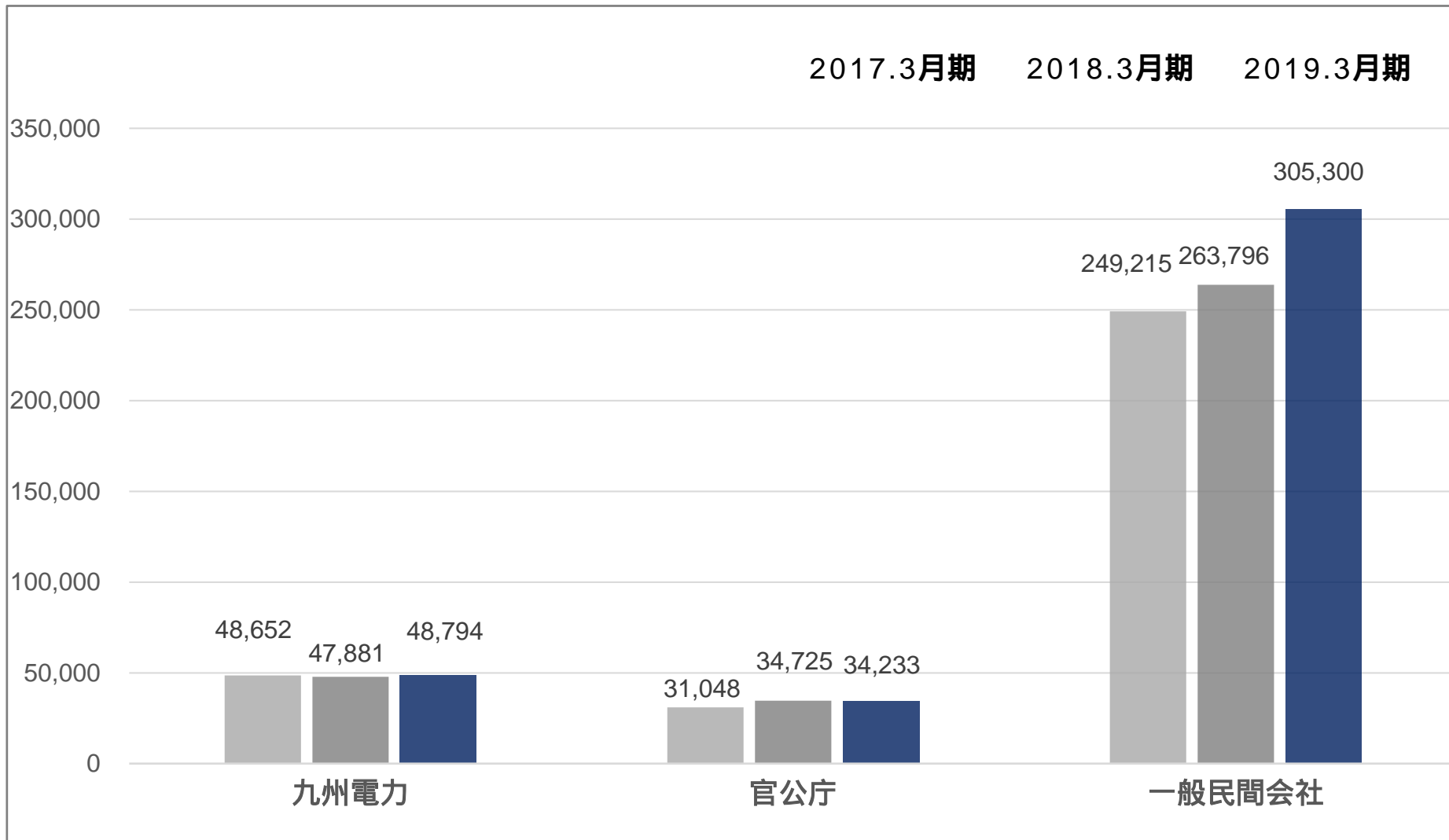
19. 工事種類別の売上高 2019年3月期 (設備工事業)

(百万円)



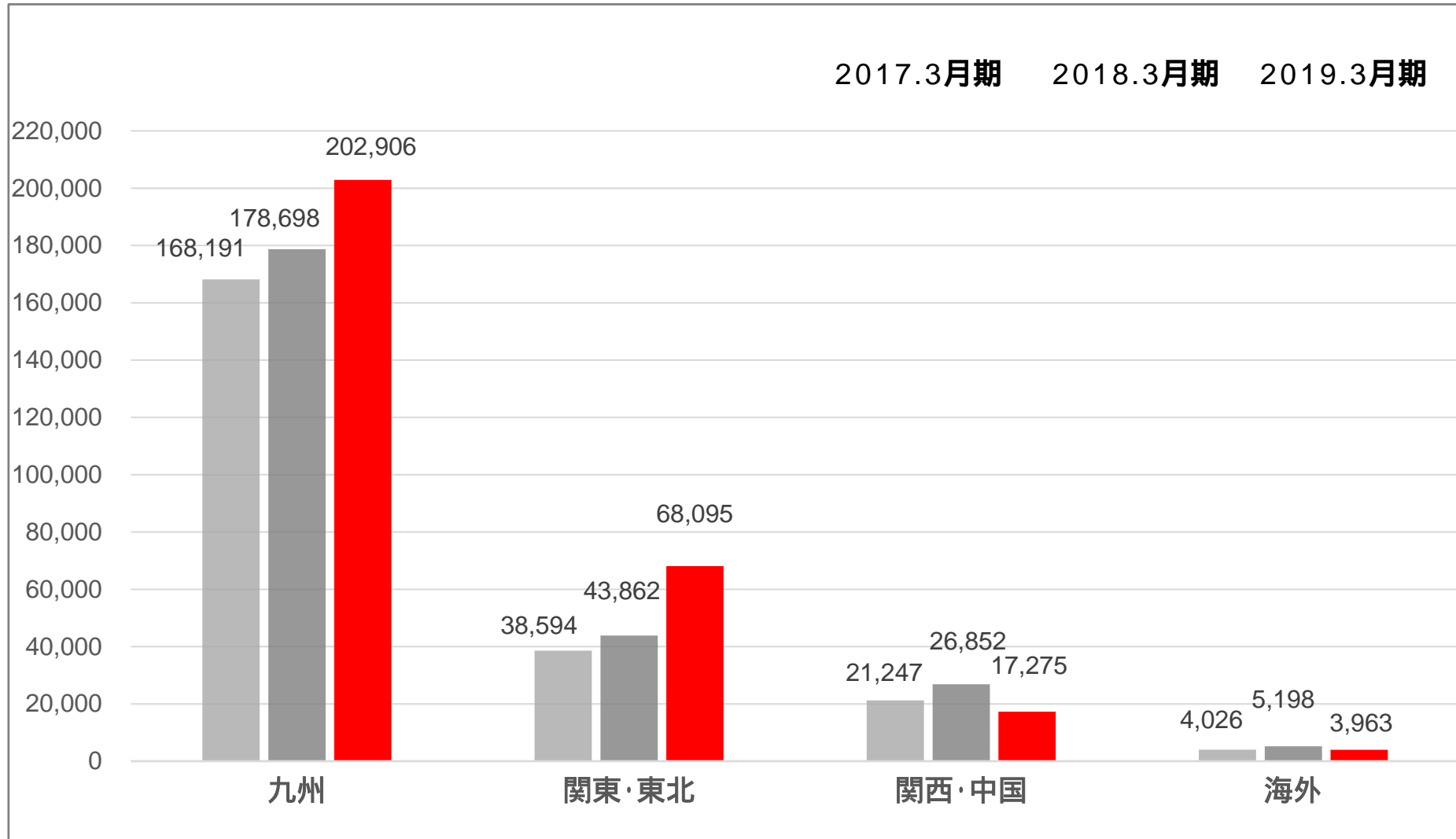
20. 得意先別の売上高 2019年3月期 (設備工事業)

(百万円)



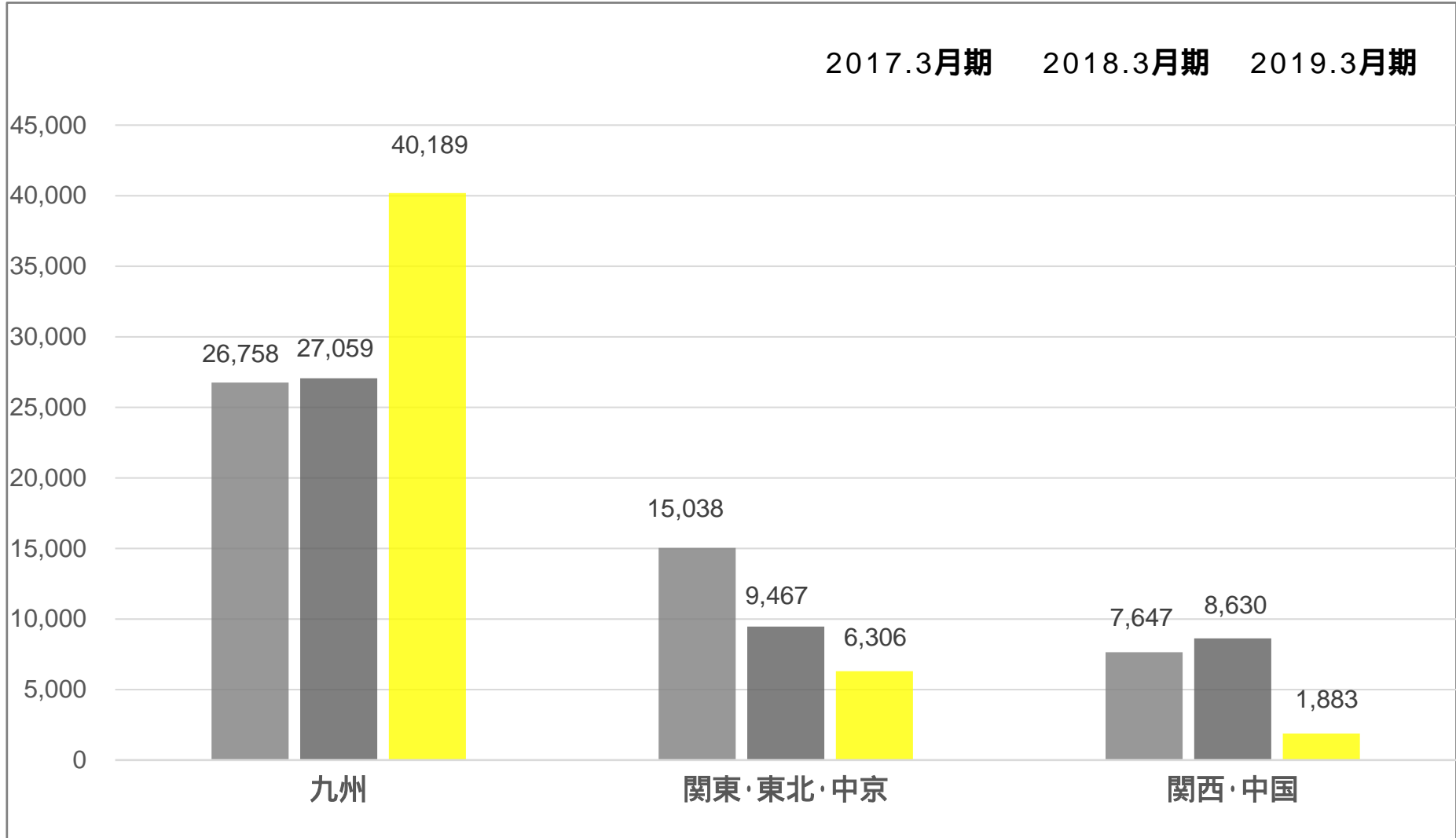
21. 地域別の売上高 2019年3月期 (太陽光工事を除く電気・空調衛生工事)

(百万円)



22. 地域別の売上高 2019年3月期 (太陽光工事)

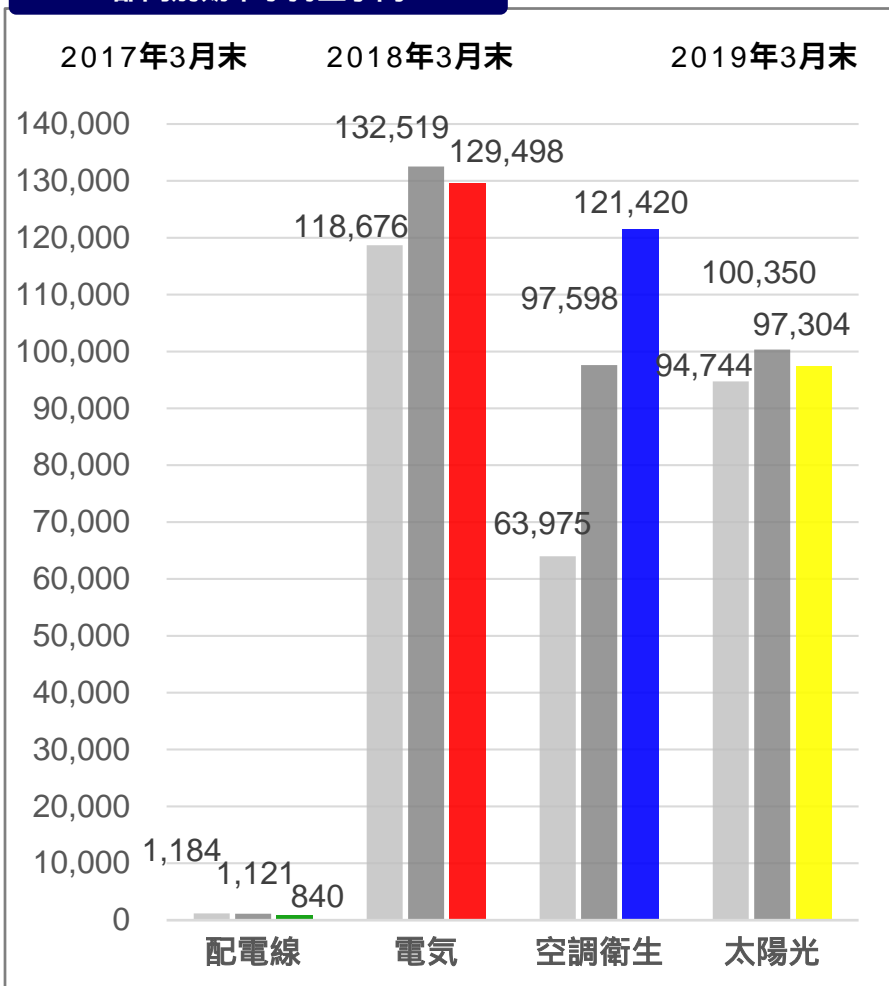
(百万円)



23 . 工事種類別の期末手持工事高 2019年3月期 (設備工事業)

部門別期末手持工事高

(百万円)



主な受注案件(2019年3月末 手持工事)

- ・ 宮リバー度会ソーラーパーク
- ・ 川崎駅西口開発新築工事
- ・ 成田空港 1PTBバリューアップ工事
- ・ M J R 堺筋本町タワー新築工事
- ・ 近畿大学東大阪キャンパス整備 期
- ・ 宮崎キャノン(株)新工場建設計画
- ・ 羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)新築工事
- ・ 新砂プラザ リニューアル・制振補強工事
- ・ (仮称)名城ビーチホテル新築工事

M J R 堺筋本町タワー
新築工事



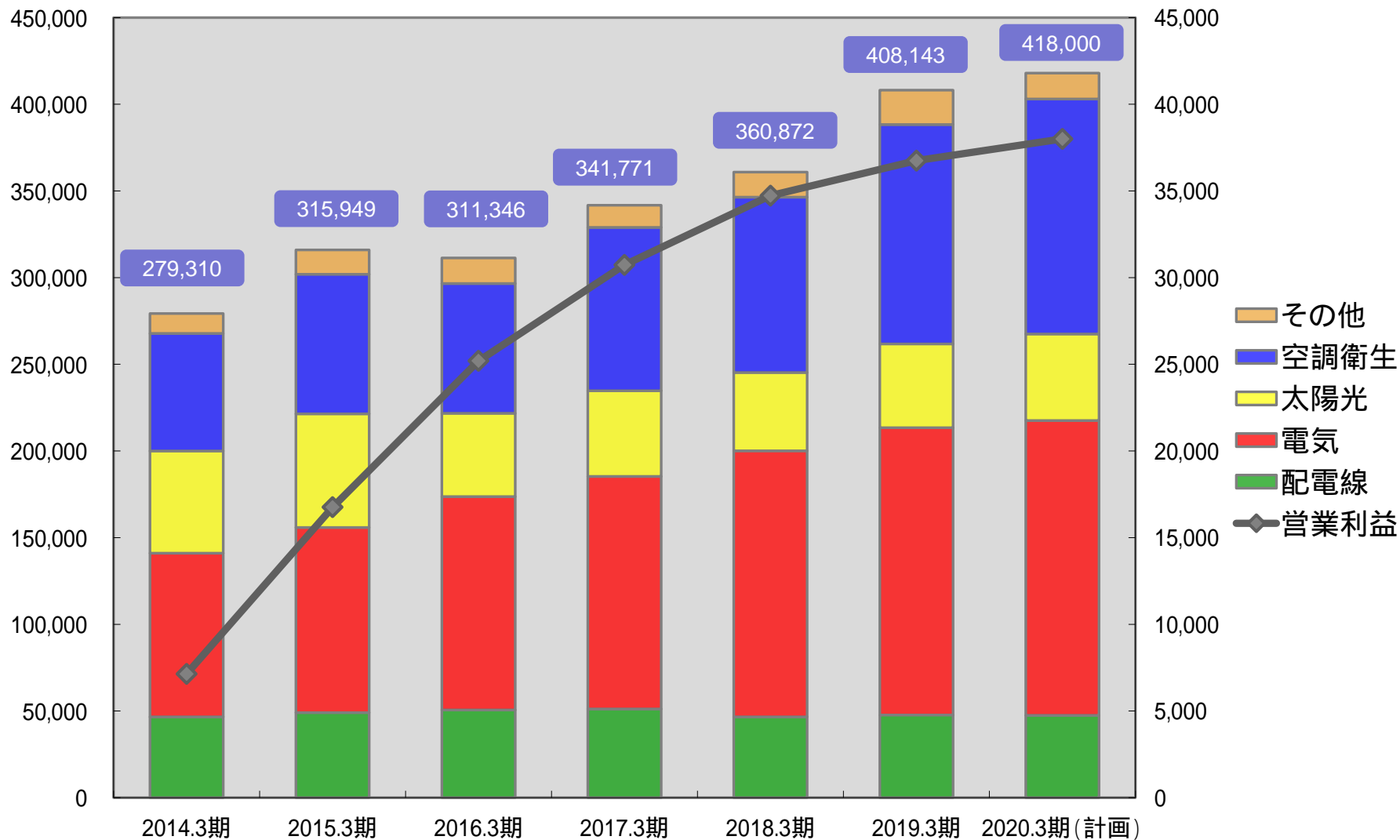
24 . 近年の経営成績

棒グラフ

売上高
(百万円)

折れ線グラフ

営業利益
(百万円)



25 . 貸借対照表の概要

(百万円、下段は構成比)

	2018年3月末	2019年3月末	増減	主な増減要因
流動資産	178,884 (55.1%)	206,268 (57.7%)	27,383	受取手形・未収入金等 +23,001
固定資産	146,034 (44.9%)	151,002 (42.3%)	4,968	投資有価証券 +5,146
資産合計	324,919 (100.0%)	357,271 (100.0%)	32,352	
流動負債	130,222 (40.1%)	142,144 (39.8%)	11,922	電子記録債務 +8,088
固定負債	30,557 (9.4%)	32,949 (9.2%)	2,392	長期借入金 +4,676
負債合計	160,780 (49.5%)	175,094 (49.0%)	14,314	
純資産合計	164,139 (50.5%)	182,176 (51.0%)	18,037	利益剰余金 +19,591
負債純資産合計	324,919 (100.0%)	357,271 (100.0%)	32,352	

26 . キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

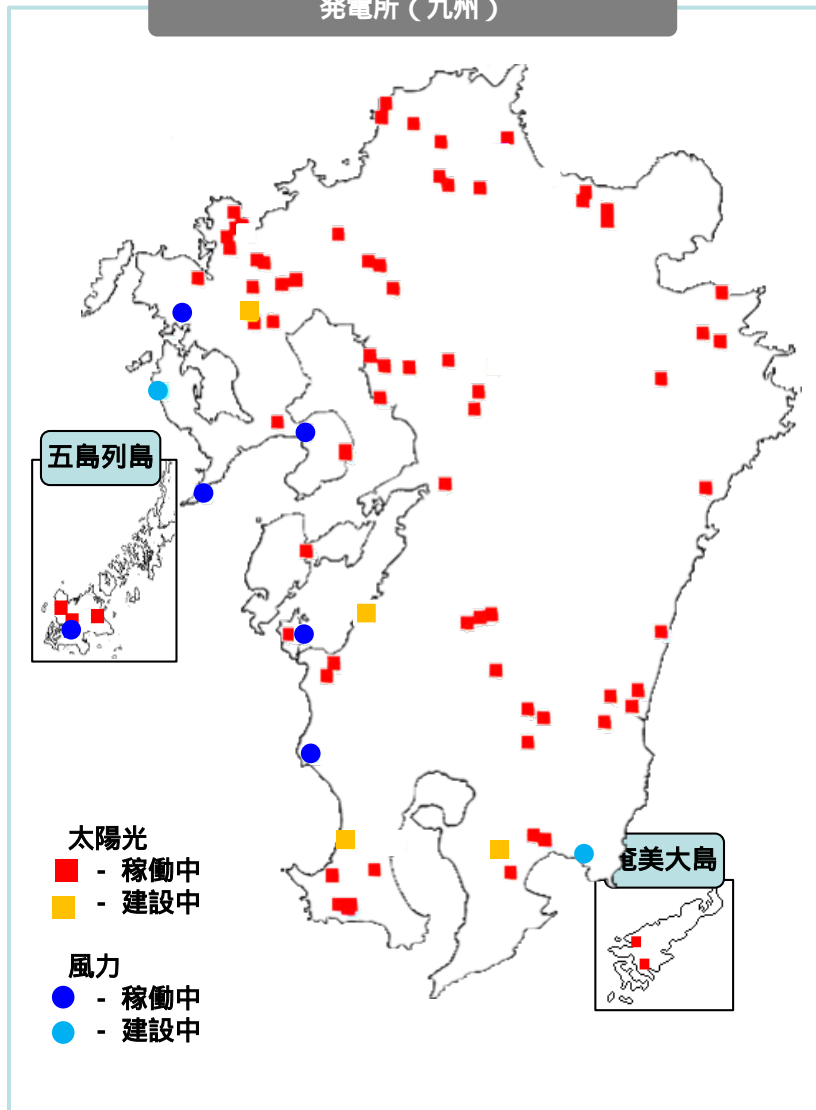
	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期の内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,016	26,054	税金等調整前当期純利益 +39,260 売上債権の回収 23,007 仕入債務の支払 +10,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,830	11,298	投資有価証券の取得 9,334
フリー・キャッシュ・フロー	26,185	14,755	
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,783	9,021	配当金の支払 7,108
現金及び現金同等物の増減額	4,477	5,687	
現金及び現金同等物の期首残高	30,027	34,505	
現金及び現金同等物の期末残高	34,505	40,192	

27 . 設備投資

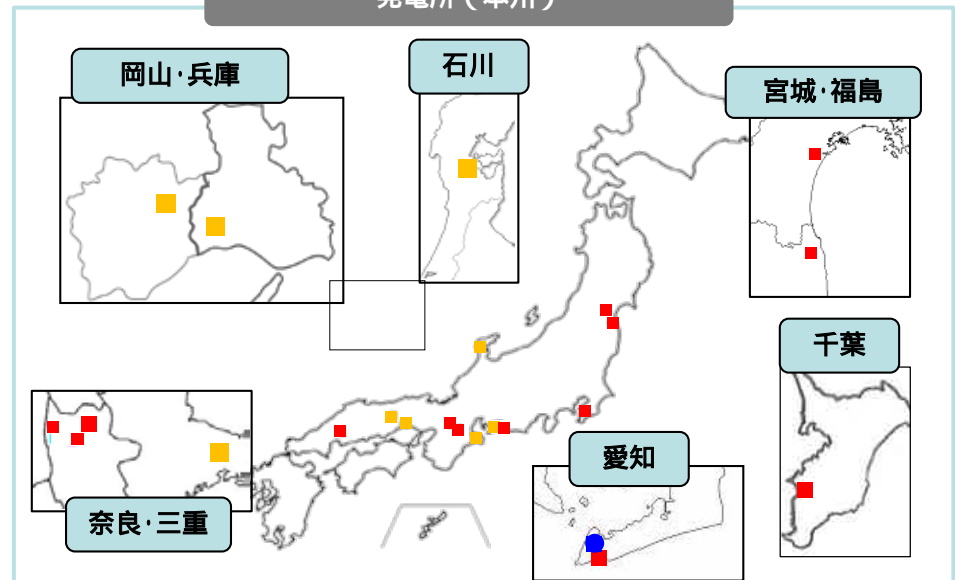
	2018年3月期	2019年3月期
設備投資額	42億円	43億円
設備工事業	17億円	37億円
	九電工営業所建替 スンバ島 EMS実証施設 工事用機械工具類 工事用特殊車両リース契約	九電工支店・営業所・寮設備・ 保養所建替 工事用機械工具類 工事用特殊車両リース契約
その他の事業	24億円	6億円
	太陽光発電設備	太陽光発電設備
減価償却実施額	55億円	60億円

28 . 太陽光・風力発電事業

発電所（九州）



発電所（本州）



近い将来 370メガワット以上
（一般家庭125,000世帯分）

20年間 安定的に業績に寄与
ピーク時 38～44億円の利益

29 . セツ島メガソーラー発電所（鹿児島県）



30 . 串木野れいめい (鹿児島県)



31 . 再生可能エネルギー発電事業の推進

現在 計画中の 太陽光・風力発電事業を推進するとともに、効率的な運用によって安定的な収益を確保する。また「地熱・小水力・バイオマス」等の発電事業にもスピード感を持って挑戦する。

バイオ発電機



霧島木質発電株式会社の木質バイオマス発電所

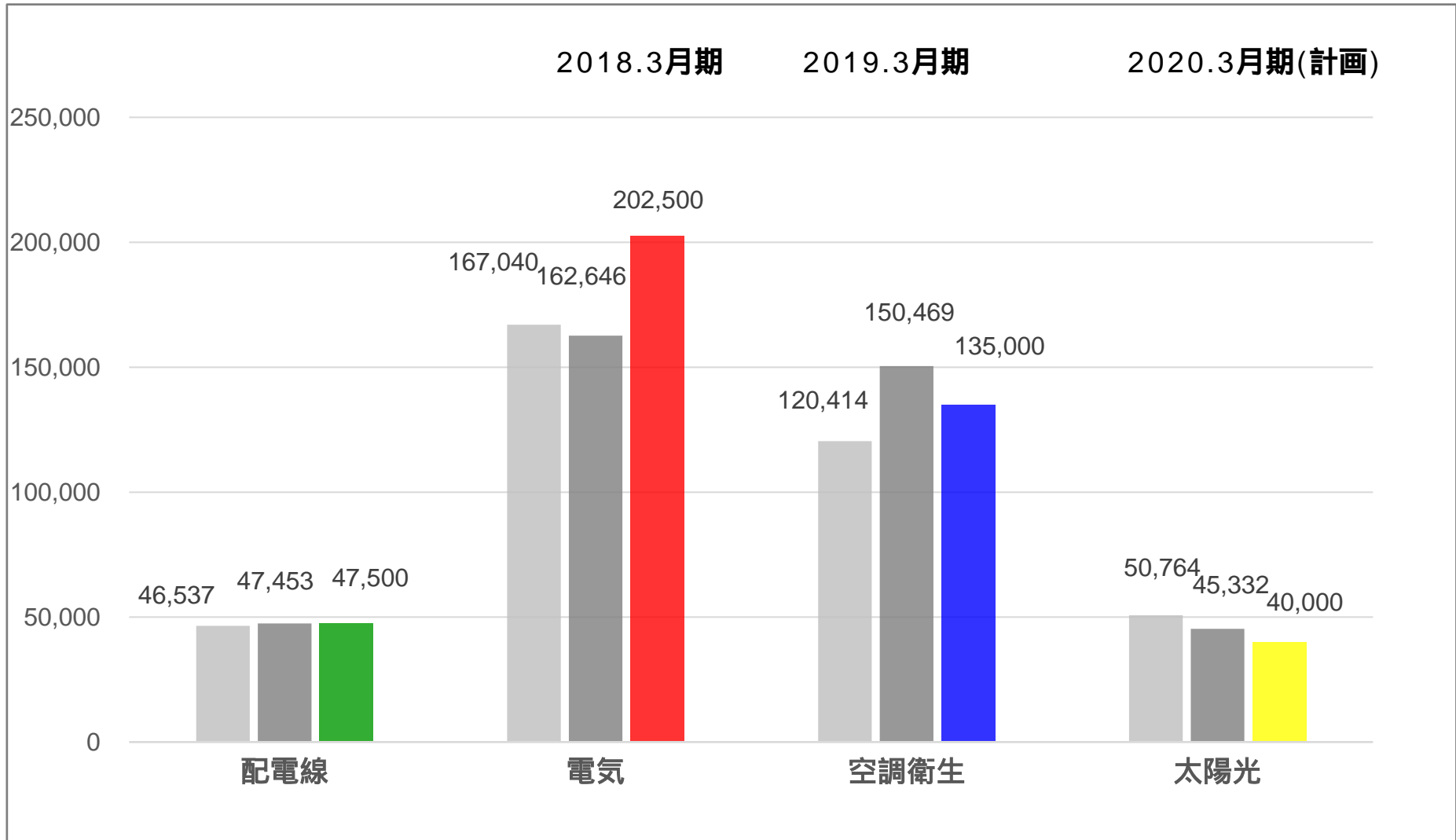
32 . 2020年3月期 計画

(百万円、下段は構成比)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	
		公表値	前年比
売上高	408,143 (100.0%)	418,000 (100.0%)	102.4%
売上総利益	60,561 (14.8%)	62,700 (15.0%)	103.5%
営業利益	36,747 (9.0%)	38,000 (9.1%)	103.4%
経常利益	39,924 (9.8%)	40,700 (9.7%)	101.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,691 (6.5%)	27,200 (6.5%)	101.9%
一株当たり当期純利益	375.17円	382.31円	
配当金	100円 中間50円、期末50円	100円 中間50円、期末50円	

33. 工事種類別の受注高の計画 2020年3月期 (設備工事業)

(百万円)



メインテーマ

n 中期経営計画 **さらなる飛躍への挑戦** ~ 新しい成長のステージへ ~

2020年3月期の数値目標（連結）

（参考）2019年3月期実績

売 上 高

4,000 億円

4,081 億円

売 上 総 利 益 率

15.0 %以上

14.8 %

営 業 利 益 率

9.0 %以上

9.0 %

R O E

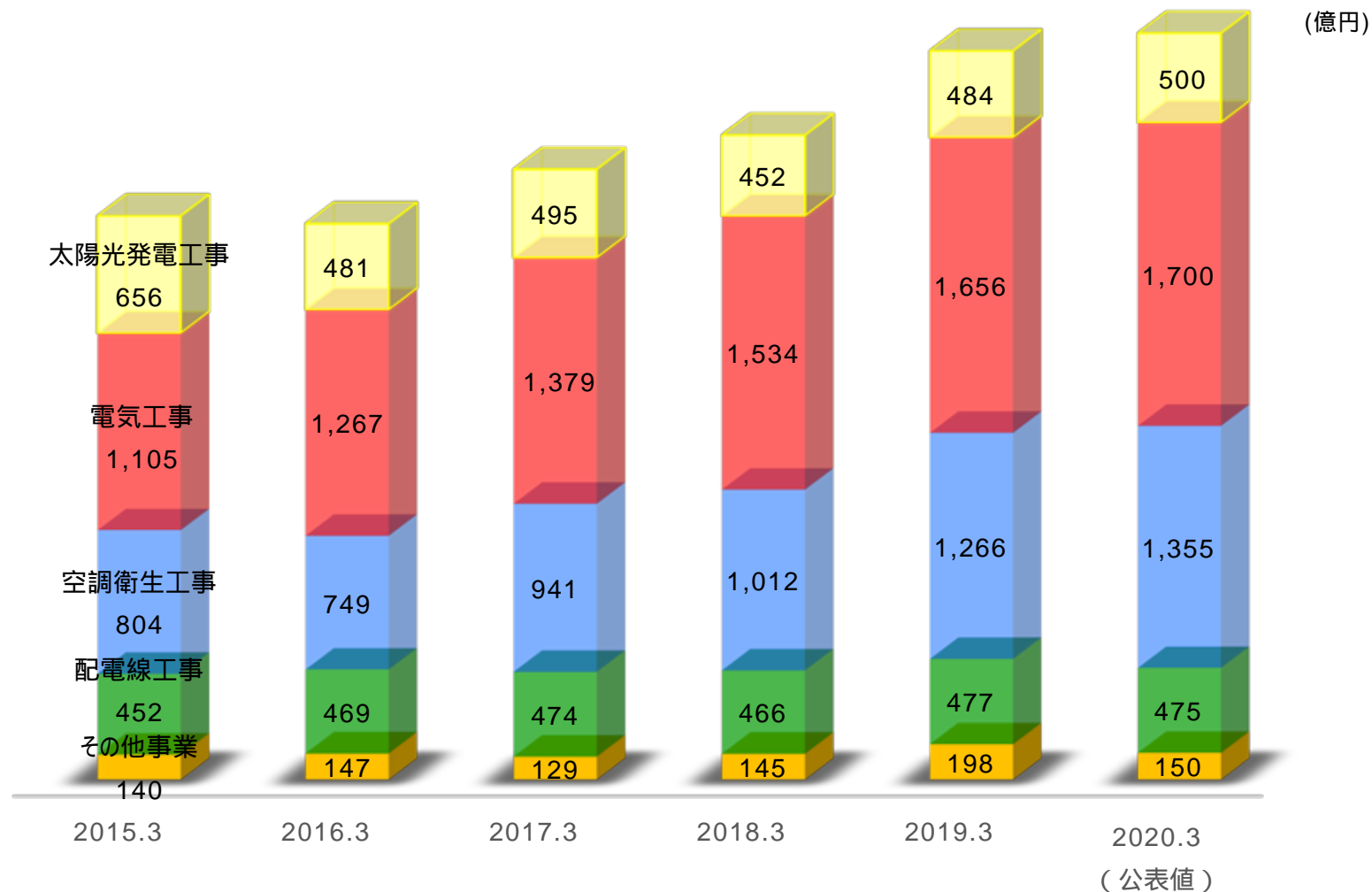
（自己資本当期純利益率）

14.0 %以上

15.6 %

35 . 中期経営計画

2020年3月期 売上計画ロードマップ



中期経営計画 (2016.3 ~ 2020.3)

2020年3月期 売上計画の内訳

売上高の合計 **4,000** 億円

事業別の内訳

太陽光発電工事 **500** 億円

電気・空調衛生工事 **2,890** 億円

配電線工事 **470** 億円

その他 **140** 億円

電気・空調衛生工事のエリア別内訳

九州 **1,760** 億円

東京 **725** 億円

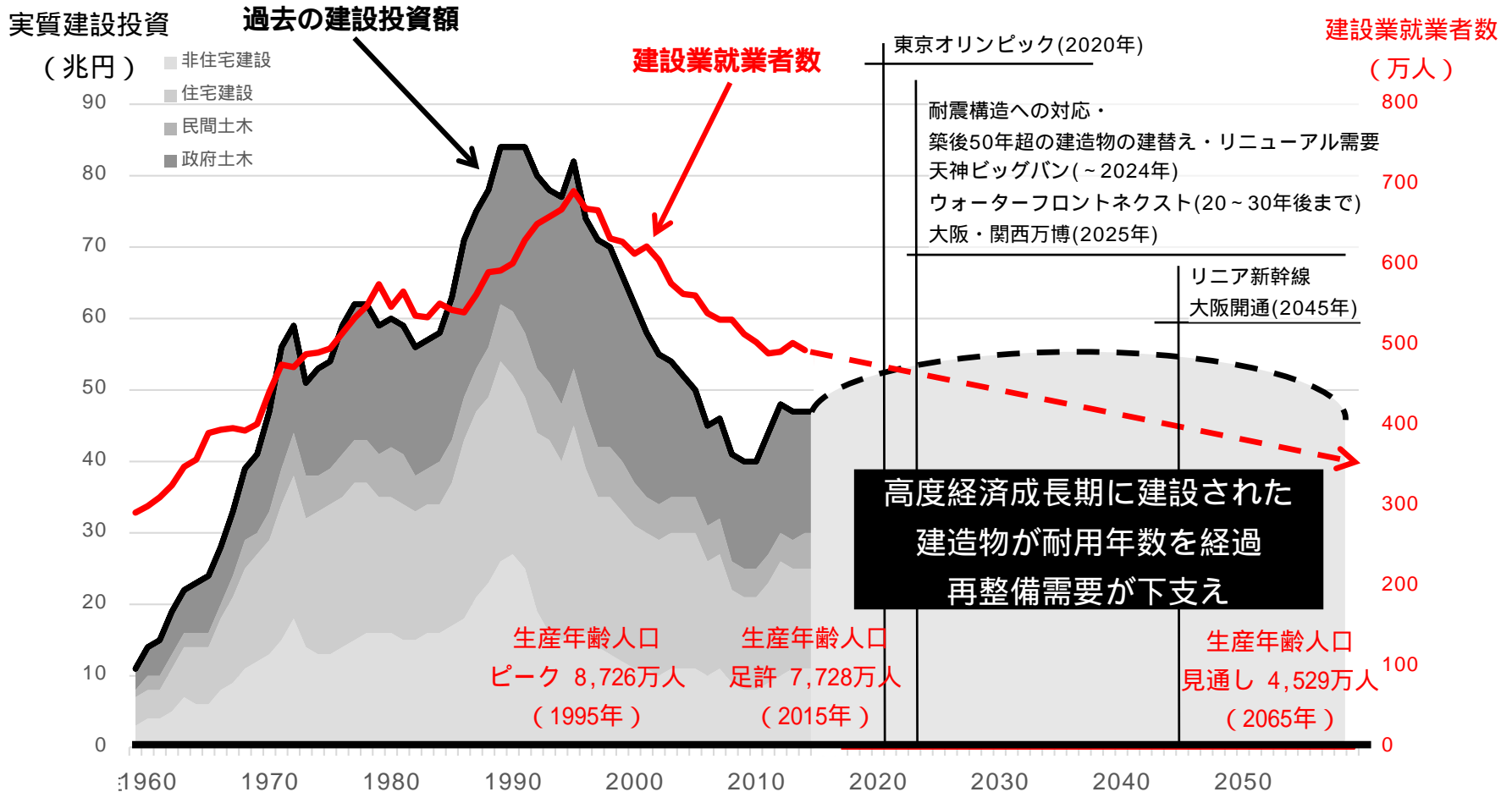
関西・沖縄 **230** 億円

海外 **175** 億円

内、リニューアル工事 **1,300** 億円

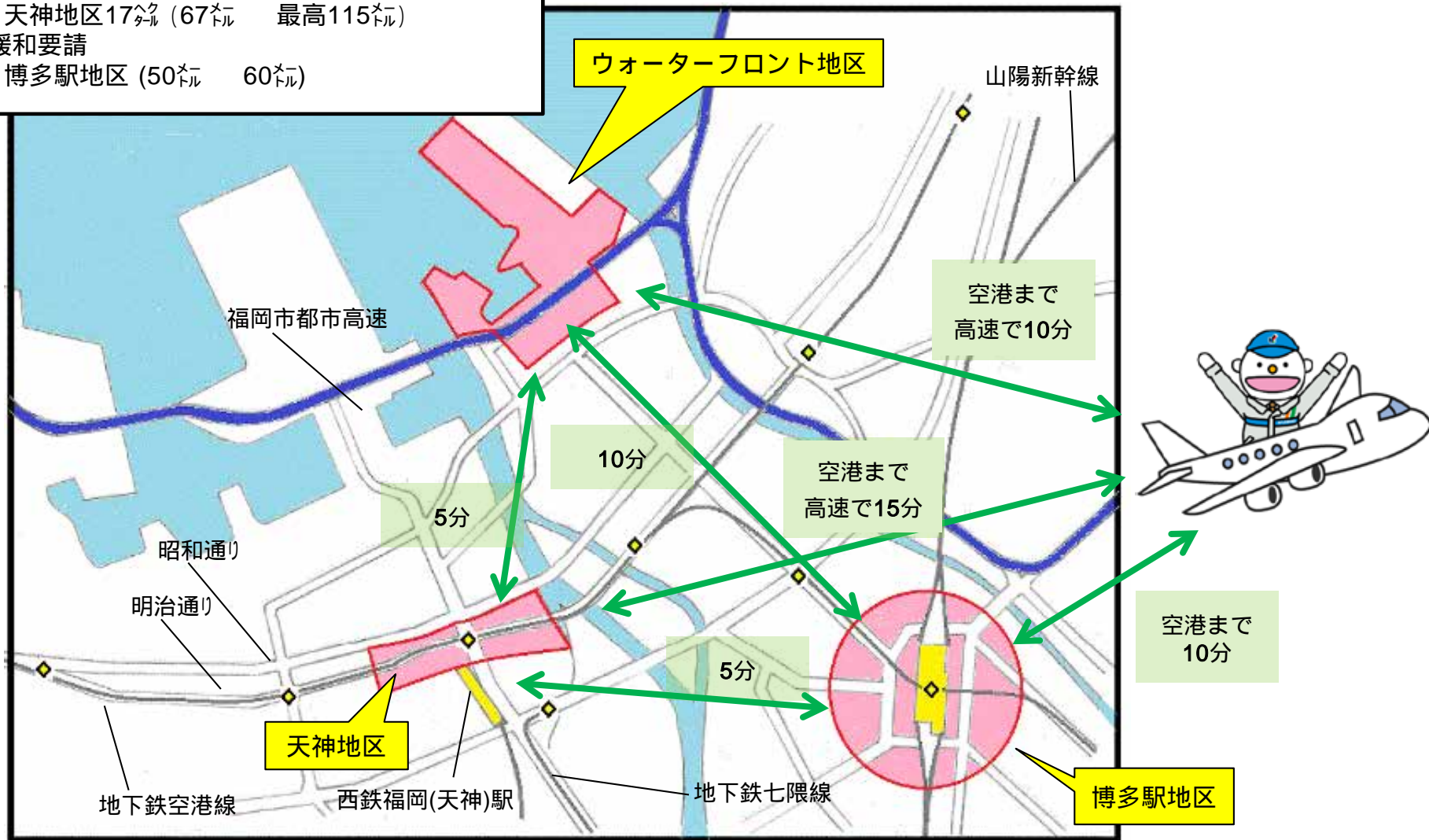
37 . ポスト2020 建設業界の予測

建設需要は、大型プロジェクトや 建設後50年を超えるインフラの更新が下支え。
生産年齢人口減少により人手不足が加速、供給力が急減。



38. 【位置関係】ウォーターフロントネクスト ・天神ビッグバン・博多コネクテッド

高さ制限緩和
 ウォーターフロント地区 38分 (70分 100分)
 天神地区 17分 (67分 最高115分)
 緩和要請
 博多駅地区 (50分 60分)



プロジェクト	目的	期間及び規模
天神ビッグバン	<ul style="list-style-type: none"> 福岡の中心部である天神エリアの再開発を進めることで、アジアの拠点都市としての役割・機能を高め、雇用を創出 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年まで 延床面積 75.7万㎡ 天神地区のビルの建替（30棟）
ウォーターフロントネクスト	<ul style="list-style-type: none"> 九州の海の玄関口である博多港周辺の賑わいを創出 MICEやクルーズなどの需要に対し、都市機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 今後10～20年 クルーズターミナル、MICE、商業施設、ホテル
博多コネクティッド	<ul style="list-style-type: none"> 九州の陸の玄関口である博多駅の活力と賑わいを、さらに周辺につなげていく 	<ul style="list-style-type: none"> 2028年まで 博多駅から半径約500m、約80ha 博多駅周辺のビルの建替（20棟）

40 . 多様なビジネスモデルそれぞれの深掘り（設備工事業）

ビジネスモデル 項目	㉑ 提案元請型 (地域密着)	㉒ サブコン型	㉓ 資本参加型
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中型・小型工事が中心 ・ 施主から直接受注・元請となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型工事 ・ ゼネコンの下請（サブコン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異業種との協業のプロジェクトに資本参加し、工事を受注 ・ 工事利益 + 応分の事業利益
事業エリア	主として九州	関東・関西等都市部	全国展開
	M & A により関東・関西へ	福岡都市部 全国へ事業エリア拡大	
売上高	案件ごとの売上高は小さい	案件ごとの売上高は大きい	案件ごとの売上高は大きい
利益率	比較的高い（施主から直接受注）	比較的低い（下請が主）	プロジェクト毎で異なる
差別化戦略	九州、沖縄全域に111の営業所を持つことで、技術者による地域密着営業を展開	圧倒的な直営動員力	プロジェクトの企画段階から参加することで、工事を確実に受注
ライバル	地元中小企業	全国大手同業各社	ゼネコン・デベロッパー
構成比	約40%	約50%	約10%

41 . 地域の皆様とともに歩む九電工

九電工は、株主の皆様はもちろん
地域、お取引先、従業員などすべてのステークスホルダーとともに、
将来にわたって発展し続ける企業を目指します。

技術の研鑽に励む女性電工



九電工陸上競技部



さわやかコミュニティ旬間
地域清掃活動



福岡の観光地
ベイサイドプレイス博多



42．再発防止策の軸

当社グループでは、社外取締役や弁護士を含めた調査委員会を組織し、不正行為の機会や動機など、徹底的な原因の追究を行いました。この調査に基づく再発防止策の軸は以下の通りとし、それぞれの項目につき具体的な体制、業務スキーム、制度などを策定致します。

- 1．法令遵守についての徹底的な再教育の実施
- 2．クリーンで健全な風土への改革
- 3．外注企業への発注スキームの改善
- 4．外注企業に対する不正加担や協力拒否の周知
- 5．内部及び外部からの通報制度のさらなる強化、活用の促進

不正行為を許さない、不正行為が行えない、不正行為が露見する仕組みを構築し、CSR経営を強化することで、先進的な企業文化の形成に努めてまいります。

この資料には、九電工及び九電工グループ(以下、当社グループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、当社グループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、当社グループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、当社グループはこの資料を公表した後に、法令の定めに従う場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務や方針を有しておりませんのでご留意ください。

当社グループの主として経営成績や財政状態に重大な影響を与え得るリスク、不確実性、その他の要因の例として、経済情勢等、工事材料価格の変動、貸倒れリスク、保有資産に関するリスク、設備工事業以外の事業にかかるリスク、海外事業に伴うリスク、退職給付債務、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

当社グループは、信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて資料を作成しており、掲載内容についても細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等があった場合、さらにデータの伝送等によって障害が生じた場合に関しまして、当社グループは一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、資料に掲載されている内容で、日付が付されたものについては、それぞれ当該日付現在の情報であり、本日現在の情報ではありません。情報の内容にその後の変動があっても、当社は、随時変更・更新することをお約束いたしておりませんのでご了承ください。

なお、この資料は当社グループのIR活動の一環として提示するものであり、いかなる有価証券でありましてもその投資勧誘を目的としたものではありません。